



2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月25日

上場会社名 太洋工業株式会社
 コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-xelcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月1日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 細江 美則
 (氏名) 園部 直孝
 TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2020年12月21日～2021年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,708	11.2	17		80		77	
2020年12月期第3四半期	2,434	18.4	284		216		553	

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 94百万円 (%) 2020年12月期第3四半期 570百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	13.21	
2020年12月期第3四半期	93.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,928	2,478	49.6
2020年12月期	4,428	2,401	53.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 2,445百万円 2020年12月期 2,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		3.00	3.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2020年12月21日～2021年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,326	36.2	59		71		53		8.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	5,910,100 株	2020年12月期	5,910,100 株
2021年12月期3Q	6,182 株	2020年12月期	1,782 株
2021年12月期3Q	5,905,331 株	2020年12月期3Q	5,893,494 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス変異株の感染拡大による部品調達の停滞や中国景気の減速懸念による影響に伴い、依然として厳しい状況にあるものの、感染拡大を予防する新しい生活様式やワクチン接種の普及を背景に、アフターコロナ・ウィズコロナを見据えた成長分野への設備投資が堅調な伸びを見せるなど持ち直しの動きが続きました。

当社グループが属する電子基板業界は、5G通信及びEV向け半導体の世界的な需給逼迫を背景に、大型パッケージ基板関連メーカーを中心に生産体制の強化が加速し、製造装置・材料メーカーを含めた製造各社では、新規参入や更なる微細化に向けた開発が進むなど活況を呈しました。

このような経済環境の下、鏡面研磨機事業において販売は減少したものの、電子基板事業、テストシステム事業及び産機システム事業において販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。

これらの結果、連結売上高は2,708百万円（前年同四半期比11.2%増）と、前年同四半期連結累計期間に比べ273百万円の増収となりました。

損益については、鏡面研磨機事業において売上高が減少したことに伴う影響はあったものの、電子基板事業、テストシステム事業及び産機システム事業の売上総利益率が上昇したことや、人件費等の販売費及び一般管理費が減少したことに伴い損失が縮小したことから、営業損失17百万円（前年同四半期は284百万円の営業損失）、雇用調整助成金等の助成金収入を営業外収益に計上したことにより経常利益80百万円（同216百万円の経常損失）、前第2四半期連結会計期間に計上した減損損失等がなくなったことから親会社株主に帰属する四半期純利益77百万円（同553百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子基板事業)

高難度製品の販売は医療機器メーカー向けの受注減により減少したものの、製品開発の本格的な回復や産業用機器関連市場の活況に伴い、FPCメーカー及びカメラメーカーをはじめとしたセットメーカー向けの試作案件の販売が引き続き好調に推移したことから、売上高は増加いたしました。損益については、利益率の高い試作案件の受注増及び材料費低減に向けた諸施策の実施により、売上総利益率が上昇したことから増益となりました。

その結果、売上高1,793百万円（前年同四半期比15.8%増）、セグメント利益388百万円（同179.2%増）となりました。

(テストシステム事業)

外観検査機及び消耗品である検査治具の販売は減少したものの、中国市場を中心とした旺盛な設備投資に伴い、通電検査機及び既販売分の改造案件並びにメンテナンスの受注により販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により損失が縮小いたしました。

その結果、売上高548百万円（前年同四半期比20.4%増）、セグメント損失36百万円（前年同四半期は97百万円のセグメント損失）となりました。

(鏡面研磨機事業)

研磨に使用する消耗品の販売は増加したものの、顧客の設備投資に対する慎重姿勢の影響により研磨機の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により損失となりました。

その結果、売上高115百万円（前年同四半期比59.4%減）、セグメント損失20百万円（前年同四半期は17百万円のセグメント利益）となりました。

(産機システム事業)

産業用ロボット関連の販売は減少したものの、製造ラインにおける大型設備案件及びカバーガラス等の新規仕入商材案件の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により損失が縮小いたしました。

その結果、売上高251百万円（前年同四半期比72.0%増）、セグメント損失38百万円（前年同四半期は48百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ527百万円増加し、2,877百万円となりました。これは主として、現金及び預金並びに売上債権が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少し、2,051百万円となりました。これは主として、有形固定資産が減価償却により減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ241百万円増加し、1,115百万円となりました。これは主として、短期借入金が増加したこと及び冬季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ181百万円増加し、1,334百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加し、2,478百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期の連結業績予想については、2021年7月29日に公表した「営業外収益の計上及び2021年12月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、依然として先行き不透明な状況は続くものの、ワクチンの接種や治療薬の実用化が進展するにつれて事態は緩やかに収束に向かうものと見込んでおり、今後、業績動向を踏まえ修正の必要性が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,749	1,712,049
受取手形及び売掛金	492,544	627,689
商品及び製品	135,899	99,453
仕掛品	299,274	321,712
原材料及び貯蔵品	80,068	83,306
その他	53,776	33,714
貸倒引当金	△284	△419
流動資産合計	2,350,028	2,877,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	340,511	325,916
機械装置及び運搬具（純額）	200,006	162,631
土地	893,133	894,235
その他（純額）	23,853	37,008
有形固定資産合計	1,457,505	1,419,790
無形固定資産		
その他	33,221	28,034
無形固定資産合計	33,221	28,034
投資その他の資産		
その他	593,726	608,723
貸倒引当金	△6,090	△5,348
投資その他の資産合計	587,636	603,375
固定資産合計	2,078,362	2,051,200
資産合計	4,428,391	4,928,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,401	141,056
短期借入金	401,257	634,633
未払法人税等	9,496	16,190
賞与引当金	—	38,826
製品保証引当金	3,612	1,103
その他	299,559	283,335
流動負債合計	873,327	1,115,144
固定負債		
長期借入金	337,891	553,683
長期末払金	137,140	128,440
役員退職慰労引当金	181,045	164,370
退職給付に係る負債	490,027	479,254
資産除去債務	7,100	9,246
固定負債合計	1,153,204	1,334,995
負債合計	2,026,531	2,450,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,272	807,272
資本剰余金	930,572	930,572
利益剰余金	567,646	627,920
自己株式	△99	△99
株主資本合計	2,305,391	2,365,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,806	54,547
為替換算調整勘定	21,190	25,328
その他の包括利益累計額合計	61,996	79,876
非支配株主持分	34,472	33,025
純資産合計	2,401,860	2,478,567
負債純資産合計	4,428,391	4,928,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月21日 至 2021年9月20日)
売上高	2,434,982	2,708,461
売上原価	1,911,772	1,940,399
売上総利益	523,209	768,062
販売費及び一般管理費	807,361	785,740
営業損失(△)	△284,152	△17,678
営業外収益		
受取利息	1,294	1,165
受取配当金	5,090	5,146
為替差益	—	6,060
助成金収入	60,622	90,082
作業くず売却益	6,995	808
その他	7,477	6,697
営業外収益合計	81,480	109,959
営業外費用		
支払利息	7,276	7,731
債権売却損	2,529	2,451
譲渡制限付株式報酬償却	—	1,504
為替差損	3,463	—
その他	750	422
営業外費用合計	14,019	12,111
経常利益又は経常損失(△)	△216,691	80,170
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,690
特別利益合計	—	7,690
特別損失		
固定資産除却損	38	0
減損損失	278,405	—
投資有価証券評価損	20,002	—
特別損失合計	298,446	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△515,138	87,860
法人税等	41,508	11,154
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△556,646	76,705
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,846	△1,293
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△553,799	77,999

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月21日 至 2021年9月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△556,646	76,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,839	13,741
為替換算調整勘定	△6,922	3,984
その他の包括利益合計	△13,762	17,725
四半期包括利益	△570,409	94,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△564,468	95,878
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,940	△1,447

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症における会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年12月21日 至 2020年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,549,322	455,362	284,305	145,992	2,434,982	—	2,434,982
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	15,510	—	—	15,510	△15,510	—
計	1,549,322	470,872	284,305	145,992	2,450,492	△15,510	2,434,982
セグメント利益 又は損失(△)	139,197	△97,066	17,568	△48,056	11,643	△295,795	△284,152

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△295,795千円には、セグメント間取引消去等6,512千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△302,308千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

産機システム事業において、機械装置及び運搬具の減損損失3,585千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の土地の減損損失274,820千円を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月21日 至 2021年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,793,940	548,039	115,318	251,162	2,708,461	—	2,708,461
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,793,940	548,039	115,318	251,162	2,708,461	—	2,708,461
セグメント利益 又は損失(△)	388,619	△36,248	△20,405	△38,542	293,422	△311,101	△17,678

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△311,101千円には、セグメント間取引消去等11,355千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△322,457千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。